

「なら歴史芸術文化村」を視察して



さわやかレクリエーションの助成を受けて、令和4年3月に開村した「なら歴史芸術文化村」に行きました。なら歴史芸術文化村は、歴史、芸術、食と農など奈良県の誇る文化に触れることができる施設で、周りには自然豊かな四季を感じられる環境の中にありました。文化財修復・展示棟、芸術文化体験棟、交流にぎわい棟、情報発信棟の4つの建物の他、コンサートホール・ホテル・レストランの設備があります。

まず、セミナールームに集合し本人が親や介護者とペアになり、各棟の見学にあたり、奈良の歴史芸術文化に関するクイズに答えるように各自でクイズの問題のヒントを探しながら見学しました。文化財修復・展示棟では、文化財である仏像等彫刻、絵画・書跡等の修復作業現場を公開していて、奈良県肢連のチャリティー墨書展でお世話になっている南都諸大寺の文化財の修復もされています。クイズの超難問にはコンシェルジュに尋ねたり、3階から景色を楽しんだり問題は思考を巡らせた内容だったので大変楽しく見学できました。

そのあとまたみんなで集まりクイズの答え合わせをしました。皆良い解答率でしたよ。そのあとはお楽しみのビンゴゲーム!奈良ゆかりの品物で大変盛り上がりしました。

今回は、奈良の歴史や文化・芸術に触れることは勿論、身体障害のある人達にとって、この施設が配慮されているかどうかも大事な目的の一つでした。

出入口の段差にはスロープを出してくださったり、道を横断するときなど誘導していただきました。障害者トイレには、1か所ですが成人用ベッドが設置されていました。駐車場では、配慮してもらえるよう前もって交渉したこともあり、大きな問題はありませんでした。

ただ、関係管理者であっても合理的配慮をご存知ない現実があると感じました。

コロナ禍でありましたが、実施できて良かったと思いました。どんどん障害のある人たちが外へ出ていくことで、健常者に理解してもらえと思っています。